

# NISSAY SDGs INFORMATION



SDGsや世界の様々な社会課題。  
規模が大きくて「自分には無縁」と思ってしまう。  
でも、実は自分のささいな行動が解決につながることもある。  
「身近でも、取り組めることがあるんだ」  
そう思えるきっかけになれば、という想いでお届けする情報紙です。

## ”人生100年時代”を一人ひとりが安心して自分らしく過ごすために

“人生100年時代” 超高齢社会の日本において、この言葉が世に出てから久しくありません。  
そこで重要となるのが健康寿命。  
心身共に自立し、健康的に”自分らしく”過ごすことが出来る期間のことです。  
いつまでも元気にいきいきと過ごしたい・・・それは誰もが願うことでしょう。  
少しでも長く“自分らしく”過ごすために必要なことはなんなのでしょうか？  
現状を知り、身近な所から取り組んでいきましょう。

## 認知症と”共に生きていく”

今急速に増えているのが認知症。認知症には漠然とした不安を抱きがちですが、**きちんと理解し、向き合う**ことができれば、**認知症は怖くありません**。

### “みんなが関わる”認知症

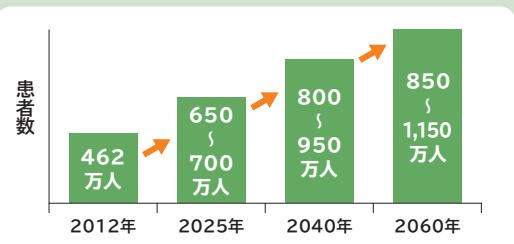
2025年には**約700万人**(65歳以上の高齢者の約5人に1人)に達することが見込まれています。

“増えている”ということに驚くかもしれませんが、**年齢を重ねるにつれて、身体機能が衰えていくことは自然なこと**です。  
従って、“人生100年時代”において認知症は、**身近なものであり、いつ、誰が、関わることになってもおかしくありません**。

### だからこそ”前向きに”そして”支え合う”

全国の認知症の方々の数と小学生の数は近いですが、暮らしの中でそれを実感することは多くありません。  
それは、**認知症の方々も、自然に暮らす時代になっているからではないでしょうか**。  
今まで通りの生活を続けられる方・働かれる方・資格を取得される方・自ら団体を立ち上げられる方など、**認知症と向き合い、前向きに暮らしている方は多くいらっしゃいます**。

また、それを成し得るための、**地域・社会による様々なサポート・取り組みが多く存在しています**。



【出典】「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(九州大学大学院 医学研究院附属総合ホートセンター)より



厚生労働省が認知症本人の方々5人を「希望大使」に任命、全国で本人の発信を促進  
【出典】厚生労働省 認知症施策

認知症と”共に生きていく”ため、その社会づくりのため、みなさまが今から取り組めることは？

裏面

# 認知症と”共に生きていく”ため、その社会づくりのため、みなさまが今から身近で取り組めること

## 認知症を知ろう

まずは皆さん自身が、認知症とはそもそもどんなものか？ 本人・介護者へどんな支援制度・仕組みがあるのか？ 認知症の方々はどのように向き合っているのか？を様々なツールを用いて理解する所から始めましょう。



認知症に関する基礎的な情報から、国の施策・支援内容について細かく掲載されています。



【出典】厚生労働省 認知症施策



日本生命の運営する認知症ウェブサイト「100年人生レシピ」では認知症について身近に考えていただくヒントを発信しています。



認知症の方がホールスタッフを務める「注文をまちがえる料理店」代表理事のインタビューを掲載



## 認知症とともに生きる希望宣言

認知症の方々が認知症と共に生きるために、自分自身・すべての人たちへ掲げている宣言です。



【出典】一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ-JDWG-



## 認知症に関わる取り組みに参加してみよう

認知症の方々がいきいきと働く場やイベントに参加してみましょう。地域・社会には様々な取り組みが存在していて、その取り組みに支援することもできます。

認知症の方を地域で支えるために、地域住民が参加している見守り支援や、認知症を知る・交流するイベント等、各自自治体では様々な場を提供しています。

自身が暮らす街の取り組みを調べ、積極的に参加することが重要です。



認知症の方やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報共有できる「認知症カフェ」。全国で約7,000カフェが運営(2018年度末)

【出典】厚生労働省 認知症施策

RUN伴(ランとも)とは、今まで認知症の人と接点がなかった地域住民と、認知症の人や家族、医療福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。

喜びや達成感を共有することを通じて、認知症の人も地域で伴に暮らす大切な隣人であることを実感できます。

※詳細は公式HPを参照ください。



【出典】特定非営利活動法人認知症フレンドシップクラブ



## 認知症サポーターになろう

「認知症サポーター」とは、厚生労働省を中心として養成をすすめる、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者です。市町村や職場などで実施されている「認知症サポーター養成講座」を受講した人がなれる制度で、2020年6月末時点で登録者数は1,200万人にもなります。ぜひみなさまもサポーターとなり、社会づくりに取り組んでいきましょう。



この情報を、みなさまの大切な方々へぜひお伝えください。持続可能な社会づくりへ向けて、取り組みの輪を拡げていきましょう。

## 日本生命は事業活動を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

SDGs(Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連総会で採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のために、2030年までに達成すべき17のゴールです。当社は、これまでもSDGsと関連するさまざまな商品・サービスの開発・提供、資産運用等に取り組んでおり、今後も事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献していきます。



日本生命のサステナビリティへの取り組みはこちら



SDGsについて知りたい方はこちら (Edu Town SDGs HP)

